

みはま 議会だより

6月議会
第2回定例会
第128号

CONTENTS (目次)

- 一般質問 6議員 3
- こんな質問がありました 9
- 文教厚生常任委員会視察報告 10
- 地震・津波対策特別委員会視察報告 11

平成29年(2017年)7月25日

美浜町役場 議会事務局 〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138-278 TEL&FAX: 0738-23-5544
mail: gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp URL: <http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/>

ひまわりこども園 英語教室



6議員が 一般質問

6月定例会は、6月13日から16日までの4日間の会期で開き、6議員が一般質問を行いました。

また平成29年度一般会計・特別会計補正予算、工事委託契約の締結など、報告5件、議案11件について審議を行いました。

議会傍聴

6月14日の一般質問の様子を、和田西老人クラブ「寿会」のみなさん31名が傍聴に来られました。



報告・議案については次のとおりです。

- 報告第1号 専決処分事項の報告（和解）について
- 報告第2号 専決処分事項の報告（平成28年度美浜町一般会計補正予算（第8号））について
- 報告第3号 専決処分事項の報告（美浜町税条例の一部を改正する条例）について
- 報告第4号 専決処分事項の報告（美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例）について
- 報告第5号 繰越明許費繰越計算書の報告（美浜町一般会計）について
- 議案第1号 美浜町農業委員会の委員及び美浜町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について
- 議案第2号 美浜町漁船係留施設の設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第3号 美浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第4号 美浜町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について
- 議案第5号 美浜町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
- 議案第6号 平成29年度美浜町一般会計補正予算（第1号）について
- 議案第7号 平成29年度美浜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第8号 平成29年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第9号 平成29年度美浜町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第10号 工事委託契約の締結について
- 議案第11号 工事委託契約の変更について

一般質問



谷 重幸 議員

質問 地区の今後は??

答弁 決して楽観できない。

地区の役割

質問 少子高齢化等の問題を抱える中、運営や組織形成等、様々な影響が各地区に顕著に見られ、町としての将来の不安の縮図がそこにあると考える。

当町の見解は。

町長 高齢化により、班長ができないことや、自治会に入らない、区長のなり手が無いという話も聞く。

各区とも、地域コミュニティを維持しようとして努力されているのが現状。決して楽観できない。

質問 自主防等、様々な役割が求められる昨今、地区としての負担が増している現状への見解は。

町長 役場としても、排除や自主防等、いろんなお願いをしている。

各地区にやっていたら、今後は取れていたが、今後崩れる心配もある。



▲夜間避難訓練の様子

質問 地域の力がだんだんと疲弊していく中、行政ニーズとしては、さらに「強靱な組織を！コミュニティ力を！」ということだ。

その中にある地区の課題は、町の課題として捉えるべきだ。

町長 各地区が抱えている問題等に関しては、区長会とも協議してまいりたい。

若者の声を町政に

質問 若者の活躍が町の力となり、町の行方をも左右すると考えられる。

様々な行政サービスの中で、若者の後押しこそが、町の抱える問題に対して効果的と考えるが。

町長 医療費や、出生祝い金、子育て支援等の施策も進めている。

議員の考えの指摘とイコールではないが、他に取組むべきことがないか模索していく。

質問 他の町にみる、若者定住の支援や起業支援等は、その効果を大前提にした施策だ。

若者の流入、出の効果を狙う取組みを、当町として踏み込んでするべきでは。

町長 特化はしていないが、地域性を活かし、地方創生の考えの中で、取り組んでいきたい。

質問 若者の声や発想を集める仕組み、また、それらを町政に反映させる

ような取組みを考えてはいるか。

町長 いいご提言と認識する。

若者とういつた形で懇談、協議できるか前向きに検討したい。

浜ノ瀬海岸問題

早期事業化・着工を

質問 この問題の対応へのご苦労は理解するが、現場は何一つ解決を見ない。

浜の現状や住民心情、様々な調整に始まり、事業規模から想定する工期を考えたも、時間的な猶予はそうない。

早期の事業化・着工を。

町長 抜本的な対策案については、事業化に向けて多岐にわたる下準備を進めていただいている。

地域の安心、安全にかかわる非常に重要な公共事業と認識し、必ず県により実現していただかなければならない。

一般質問



北村 龍二 議員

質問

土砂仮置で裁判、
町民の税金を使っているが？

答弁 仕方ない。
どうしたらよいのか？

土砂仮置について

質問 町は口約束で、土地の貸借を何年にもわたって行っているのか。

町長 一時仮置ということとで、前の地権者には口頭で了承頂いた。

所有者が変わっていたことは、全く知らなかった。

今後は書面をかわして対応していく。

質問 多額の町民の税金を投入しなければならなかったが。

町長 顧問弁護士に対応して頂き、一番適宜な対応をしたと、私自身認識している。

質問 多額の税金が投入されたことを、どう思うのか聞いています。

質問 (町長) 反問を行使する。どうしたらよいか教えてほしい。

答弁 (北村) 町のトップなので、まずは町長自ら謝罪するのが最優先。

担当課が謝罪している以上、町民に向けて町長が謝罪するのは当然のこと。



質問 町長、担当課はミスではないと言っているが、明らかにミスもあるはず。

口約束で無償提供して頂いていたが、地権者が変わって問題が発生し、裁判になった結果、しかるべき金額は、町民の税金で支払われた。

だから町民に謝ってほしいと言っているだけだが、なぜミスがないと言うのか。

町長 ……

町長 現行の法律を適正に運用し、優良農地と農業振興、農地転用の規制にしたがい進めていく。

質問 普通財産はもちろんのこと、行政財産でも活用できることは、どんどん進めていくべきであるが。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

質問 地方創生事業における将来的な展望

質問 今回の地方創生事業に、今後も目標達成まで毎年予算計上するののか。

町長 地域の活力、いろんな埋もれた資源を活用したい。

国の交付額に応じた予算計上をしていきたい。

質問 地方創生統括官の任期は、今年度までと聞いている。

今後はどうしようかと

今後はどうしようかと

もりか。

町長 当面は防災企画課の職員が引き継ぎ、また時期がくれば統括官とも話し合おう。

町長 遊休地の宅地化や、民間活力を呼び込み、安心安全な優良地を生み出すことは考えないのか。

町長 現行の法律を適正に運用し、優良農地と農業振興、農地転用の規制にしたがい進めていく。

質問 普通財産はもちろんのこと、行政財産でも活用できることは、どんどん進めていくべきであるが。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

町長 売却を進めている場所もある。

地元の地区役員さんとも意見交換しながら、方向性を検討していく。

町長 売却を進めている場所もある。

一般質問



龍神 初美 議員

質問 町内行事の重複日程、手立てはなかったのか

答弁 深くお詫びを申し上げます

質問 先日、町内一斉清掃と小学校の運動会が同じ日程で実施されたが、なぜ、このような状況になったのか。

基本的に、ひまわりこども園、小・中学校の行事日程は、どこで決めるのか。

教育委員会との関わりは。

教育長 学校指導要領総則で学校が編成すると規定されている。

教育委員会は、学校からの年間教育計画の報告を受け管理するという関係にある。

質問 最終的に、町内行事の日程はどのように決められるのか。

町長 基本的には、各課の判断に任せている。

できるだけ主要な行事と重複のないように日程を決めているのが現状だ。

質問 今後、このようなことが起こらないよう、具体的な対策は。

町長 毎月末に、課長会議を開催しているのだ、



情報の共有をさらに密にして、今後も取り組んでいこう。

今回は本当に申し訳なく思っています。

ファミリーサポートセンター

質問 ファミリーサポートセンターについて、以前も町の考えを伺ったが、御坊市が10月開設に向け



▲御坊市ファミリーサポートセンター募集チラシ

具体的に動いている中で、この事業の検討状況は。御坊市の動きを町ほどの様に捉えているのか。

町長 今は御坊市の動向を注視している状況だ。

今後、御坊市の取り組み状況を鑑みた上で、参画に向けた取組みについて検討したい。

質問 町がこの事業に参加しなければ、町民がスタッフに参加したり、サービスを受けたりできないのか。

町長 基本的には、事業に参入することが条件になると考える。

質問 開設が具体化されていく中、ニーズ調査をしてはどうか。

教育課長 以前、ニーズ調査はしている。

その時は、まだファミリーサポートという事業が認知されていなかったこともあったのか、数字としては多くなかったように記憶している。

質問 今はまだ時期尚早かもしれないが、準備をしておけば役に立つ取り組みだと思いが、町長の見解は。

町長 町にとって子育ての問題はとても大事なものと認識している。

ファミリーサポートセンターもそういったニーズを勘案しながら、今後取り組んでいきたいと思っている。

一般質問



中西 満寿美 議員

質問
共同墓（納骨堂）について考えては
答弁 墓地管理協議会で協議する

高齢になっても
安心して暮らせる町に

質問 65歳以上のひとりぐらし世帯は605世帯ある。

夜間の見守りはどうなっているか。

町長 緊急通報装置やセンサー緊急信号機で安否確認している。

質問 宗派に関係なく入れる共同墓、あるいは納骨堂を設けている自治体がある。

本町でも考えておく必要があるのでは。

町長 墓地管理協議会で協議する。

質問 高齢ドライバーによる交通事故が多発している。

免許証を自主返納すると、いろんな特典をつけている自治体がある。

本町でも必要ではないか。

町長 現在のところ考えていない。

質問 高齢者の外出支援として、デマンド（乗

合）タクシーを運行している自治体が増えている。導入する考えはないか。

町長 運転免許証の自主返納と関連して代替手段となる公共交通機関の必要性は認識している。いま少し研究したい。



▲いきいきサロンの様子

質問 高齢化社会に対応した自治会のあり方を検討する必要があるのではないか。

町長 情報難民が生まれにくいよう、地区で最善の方法を考えていただきたい。

核兵器禁止にむけて

質問 本町で非核自治体宣言を出したのはいつか。宣言文の内容は。

町長 昭和62年10月2日、議会会で決議した。宣言文は「(前略)我が国は世界唯一の核被爆国であり(中略)核兵器の廃絶こそ美浜町民の共通の願いである(後略)」となっている。

質問 非核自治体宣言の碑(看板)はどうなったのか。

町長 役場前の歩道付近に立っていたが、腐食したので撤去し、役場庁舎の裏に保管している。

質問 今年は、自治体宣言を出して30年、核兵器禁止条約が成立する年でもある。

看板が見える場所に設置しないのか。
町長 立てる、立てないではなく、私の心の中で平和を願う。

一般質問



碓井 啓介 議員

質問
連絡がとれない空き家や
遊休地は？

答弁 課税対象は棟数で4棟、
土地は約14000㎡余り

三尾地区の空き家と
遊休地

質問 三尾地区で、所有者と連絡の取れない空き家及び遊休地はあるのか。あるとすれば、軒数及び面積は。

また、その場合の税金は。今後、そのような物件はどうしていくのか。

町長 課税対象になる物件だけで、4棟の空き家と土地では約14000㎡。

課税は、最終的に不納欠損処分せざるを得ない。また現行の制度では、相続人不明の物件は個人の財産である以上、行政での対応には限界がある。
質問 対応には限界があるとの事だがそれでいいのか。

なるべく早く対処しなければ、年月が経つ程、ますます解決が難しくなり、最終的には本来に解決出来なくなるのでは。また、災害時に空き家

倒壊などによって、避難経路の障害になるなどの防災面、町の事業にともなう土地利用時にも、障壁になる可能性も多くあるのでは。

町長 職員も努力しているが、わたくし的には法律的に難しいと思っ

税務課長 古い物件については、住所自体ももちろん記載されていない物件もあり、課税に苦慮している。

14000㎡の中で宅地は2000㎡。ほとんどは山林や田畑で固定資産税額は8万円程だが、徴収出来ていない。

質問 わたくし的には、納税面より防災面が気にかかると。法律的に難しいのは分かるが、色々と考えて前に進めていってもらいたい。

西川河川改修

質問 今年度の西川の工事は、大川橋周辺100m程度の矢板工だけで、非常に遅く感じるが、町長の考えは。

また、西川大橋直近上流は、両岸とも矢板工は終わっているが、この場所の掘削はなぜ行われな

町長 下流域を少しでも早く掘削して、流下能力を上げ、冠水被害の確率を下げるべきだと思うが、住民の方々からも、



▲西側大橋から上流を見る

20年は余りにも長いのでは、との意見をいただいているので、少しでも早く工事を完了する為に、不断の努力をしていく。

西川大橋から大川橋間に必要な流下能力は、毎秒570tと想定され現状でも確保されている。

質問 計算上、流下能力は確保されていると言いますが、そういう実感はない。

町長 町長は、流下能力は十分と考えているのか。計算上は十分という事。

産業建設課長 県が策定した計画であり、専門家の方々の英知をもって策定されたと認識している。流下能力に関しても、県のシュミレーションを信用している。

あくまでも軽減であつて、ポンプで排水しない限り冠水被害は解消しない。

一般質問



田淵 勝平 議員

第7次美浜町行政改革への取り組み

質問 第7次行政改革に「一人一人が目標達成に責任感を持つ改革、常に目標達成を意識しながら行政改革を推進する」とある。

町長は本年度の施政方針で「PDCAサイクルを回しながら検証していく」とのことだ。私も同感である。

しかし、28年度の結果を見るとサイクルが回っていない。如何か。

町長 今の行政運営において、PDCAサイクルは最重要課題である。

きつちり行政評価を身につける時であると考えている。

また、サイクルが回っていないという指摘であるが、1年間実施してきたなかで、短いスパンでサイクルを回すことが重要かつ必要という考えに至った。

このことを踏まえ、今



▲PDCAサイクル

後、本町に合った方法を研究し、サイクルを回し行政改革を進めて行きたい。

質問 これだけは言っておく。「行政ニーズ」は無限。

「財政」は有限。

有限なもので無限なものに対応しようとしたら「選択」が必要。

選択には、選択する「基準」が必要。

その基準になるものが「行政評価」であり、このPDCAサイクルであるということ、この質問を通して理解して欲しい。

下水道料金の統一

質問 町長の英断により、昨年の九月議会で料金の統一を平成30年度に行うとの答弁を頂いた。

統一にあたり、配慮しなければならぬ大切なことがある。

まず、町の人口が減少するということは、将来の負担が増加していくということが一点。

いま一つは、住民の方にとどのように説明し、理解を頂くのかという課題がある。

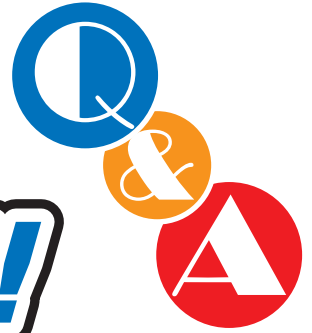
最終的に判断を下すのは町の最高責任者の町長である。

町長の今の考えを求めらる。

町長 5月30日に松原地区公共下水道推進協議会の総会で現状報告をした。

今後、6月を目前に副町長、担当課、財政担当課と協議し統一化案を絞り込みたい。

こんな質問がありました!!



仮置き土砂の和解

Q 役場の対応は適切であると思うが、税金の使用の責任は。

A 町長として責任はある。

Q 賃料相当額は、本来支払って当然では。

A 元の所有者のご厚意で、無料で置かせていただいていた。

条例の制定

Q 町の有する施設は、全て条例が具備されているのか。

A 一部されていない部分もある。

Q 条例の要否の判断についての見解は。

A 様々な考え方はあるが、一度、財産台帳と突き合わせて調べたい。

農地最適化推進委員

Q なにを目的に、どのようなことをするものか。

子育てワンストップサービス

Q 子育てワンストップサービスとは。

A マイナポータルという、自分だけのホームページのようなものを国から用意され、保育所の申し込み等ができるようになる。

Q 将来はどんなサービスに発展するのか。

A 行政からのお知らせや、公金の決済等。

当町としては、まだ考慮中。

Q スマートフォンでの利用は。

A Wi-Fiやブルートゥース、マイナンバーのチップが考えられる。

地方創生事業

Q カナダミュージアム、多目的室工事、町内業者への発注は。

A 相談して発注したい。



▲休耕田

A 遊休地等の利用に関して、現場に出向き意見を聞くこと等が考えられる。

Q 本当に最適化できると考えるか。

A 今後、国の方からの策がでるのではと考えている。

Q 任命には議会の同意が必要となるが、選ぶ基準は。

A 推薦と公募をミックスしてということになる。

Q 松林育成計画とは。産業建設課の計画との兼ね合いは。

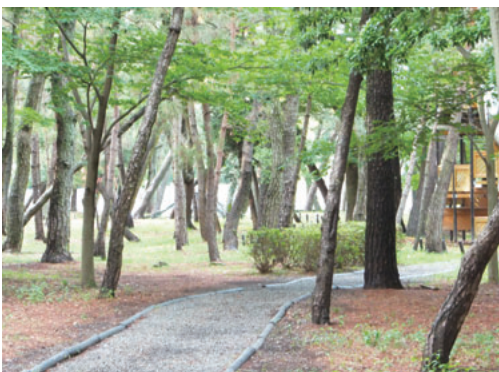
A 針葉樹から広葉樹化しているものについての計画であり、原因の追究だけでなく、対策までと考えている。

Q 協議会等の説明があまりにも、足りていないのではないか。

A すべてが網羅できておらず、申し訳ない。

Q 美浜町の再生につながるような計画にしてほしい。

A 思いは同じである。



文教厚生常任委員会 ひまわりこども園 英語教室視察

ひまわりこども園で本年度から4・5歳児を対象に、英語教育を始めたのに際し、文教厚生常任委員会は6月27日、4歳児の英語教室の様子を視察した。

5月から始まった英語教育は、オーストラリア出身のBJブレマーさん（コアラ英会話学校講師）を迎え、各クラス毎週30分ずつ行っている。

はや2か月余り、BJ先生の待っている教室に入ってくる子供達の明るい表情、すっかりBJ先生に慣れてきているのか、リラックスして「グッドモーニング。アーユーハッピー？」に子供達は躊躇なく、元気いっぱいに答え、授業が始まった。

この日は、まず「ハウズザ ウェザー トゥデイ？」の質問に対し「ハッピー サニー」「アングリー クラウディ」など体を使って天気を表現していた。

また、帰宅は「アイム

ホーム」、宿題は「ドゥホームワーク」、夕食は「イート デイナー」、お風呂は「テイク アバス」、そして就寝は「ゴー トゥ スリーピング」と、帰宅してから寝るまでの生活を、絵本を使って紹介し、「今日の宿題は、『ただいま』を『アイムホーム』と

言っただね。」と約束をしていた。

そして最後に、「シーユーアゲイン」の歌を歌い、「サンキュー ネット ウィーク」で終了した。

子供達は夢中になって先生の発音について英語を言ったり、質問に積極的に手をあげ答えたり



して、生き生きと英語を学んでいる様子を見ると、子供たちの順応性の凄さに感動した。

先生も子供達を終始集中させようと、汗を流しながら身体全体を使って接してくれていた。

この取り組みは、議会としても非常に評価できると改めて実感した。今後の子供達の成長が楽しみだ。

（委員長 龍神初美）

地震・津波対策特別委員会 松原地区高台視察

視察日
5月15日

視察地
美浜町吉原、松原高台

目的

進捗状況の説明及び、
現地確認

**南海トラフ巨大地震の
被害想定**

美浜町は、総面積の46・1%が浸水想定され、また平野部の住宅地域では90%が浸水するとされている。

被害想定で建物では、全半壊4230棟、人的



被害は死者3700名と多大な被害が想定されている。

地域防災計画・整備計画

今後発生しうる、最大クラスの地震・津波に、町としてどう向き合っていくかを考え、平成27年に地域防災計画を改訂し、整備計画を策定した。

松原地区高台津波避難場所は、その計画のもと整備されている。

高台整備の進捗状況

平成28年8月2日、50名参加のもと起工式が執り行われ、平成29年4月末現在44%の工事出来高、海拔12〜13メートルまで盛土されている。(完成後15・55メートル)
今秋には完成する見込みである。

避難困難地域の指定

「3連動及び巨大地震」の津波浸水想定をもとに、地震発生から津波到達までに、安全な場所への避難が困難な地域を抽出。(津波到達時間、避難開始時間、移動速度、避難先までの経路や距離等を考慮したシミュレーションを行っている)

美浜町では、浜ノ瀬・田井畑・新浜が指定されている。

今後の課題

今回の松原地区高台津波避難場所の完成で、避難困難地域は解消され、ハード面としては一応の成果であると思うが、自然災害は、計算やシミュレーションでは、予測出来ない事象が発生する事もあり、今後も真摯に防災計画を更新してもらいたい。

当高台整備計画は、当初のスケジュールより、



前倒しで進行しているが、1日も早い完成を望む。

また、避難困難地域の解消についても、先に記した「避難困難地域の指定」の項にある様にシミュレーションをもとにしているが、避難訓練などをもとに、現実に則したきめ細かい対応が必要。

高台完成後の維持管理等、今後の整備計画についても着目していきたい。

(委員長 北村龍二)



夏本番!



議会中継お詫び

中央公民館において、システムの不具合により議会中継が視聴できませんでした。ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

議会中継についての お知らせ

本庁舎1階ロビーと中央公民館において、議会中継が視聴できます。ぜひ、ご覧ください。

あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだの感想など、何でも結構です。あなたの声を議会事務局までお寄せください。

《連絡先》

美浜町議会事務局
 TEL 23-5544 (FAX兼用)
 mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp
 URL <http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/>

